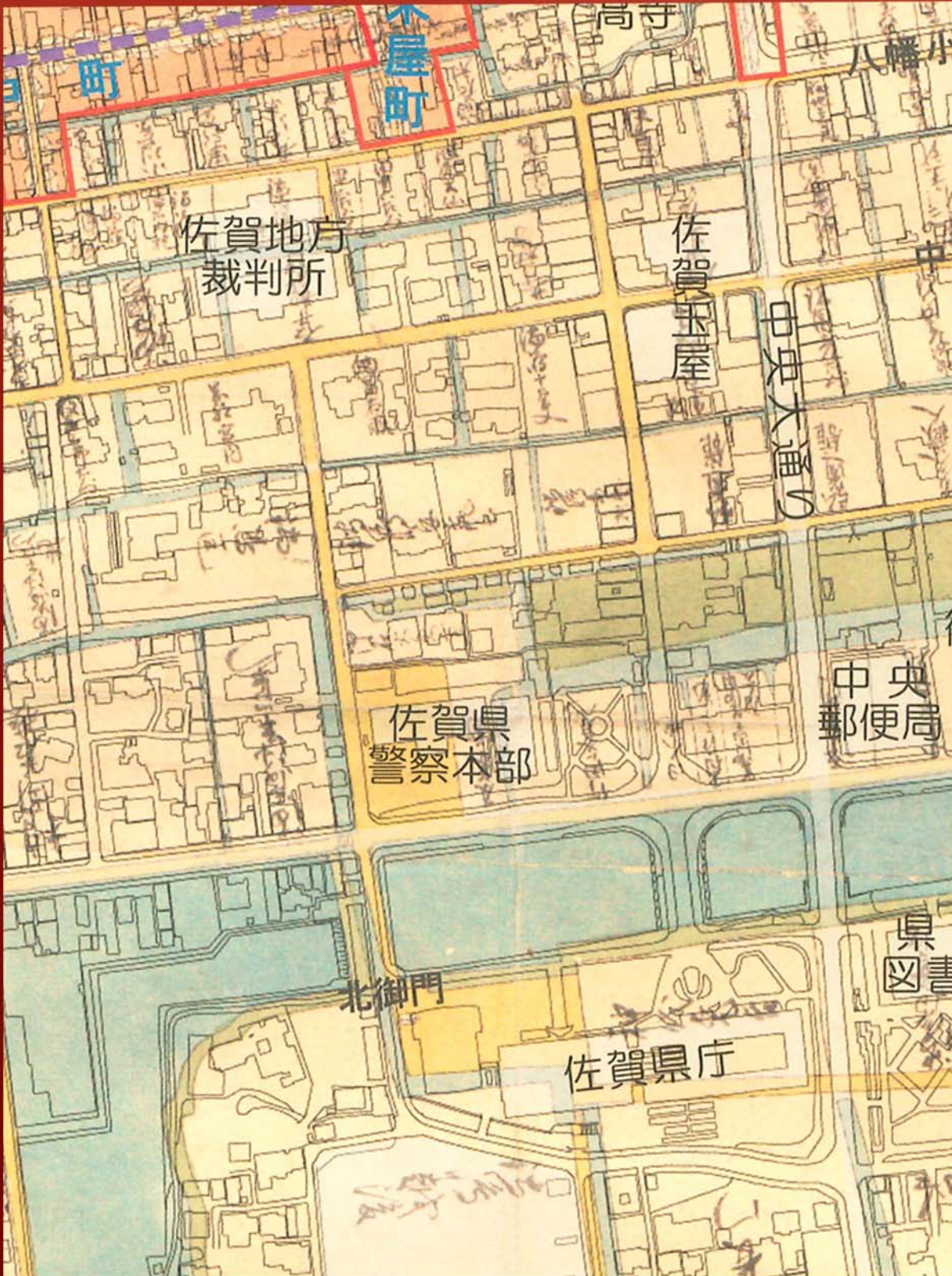


佐賀

佐賀藩主・鍋島家伝来
「佐賀御城下絵図」に
現代地図を重ねた初めての試み。

御城下絵図マップ

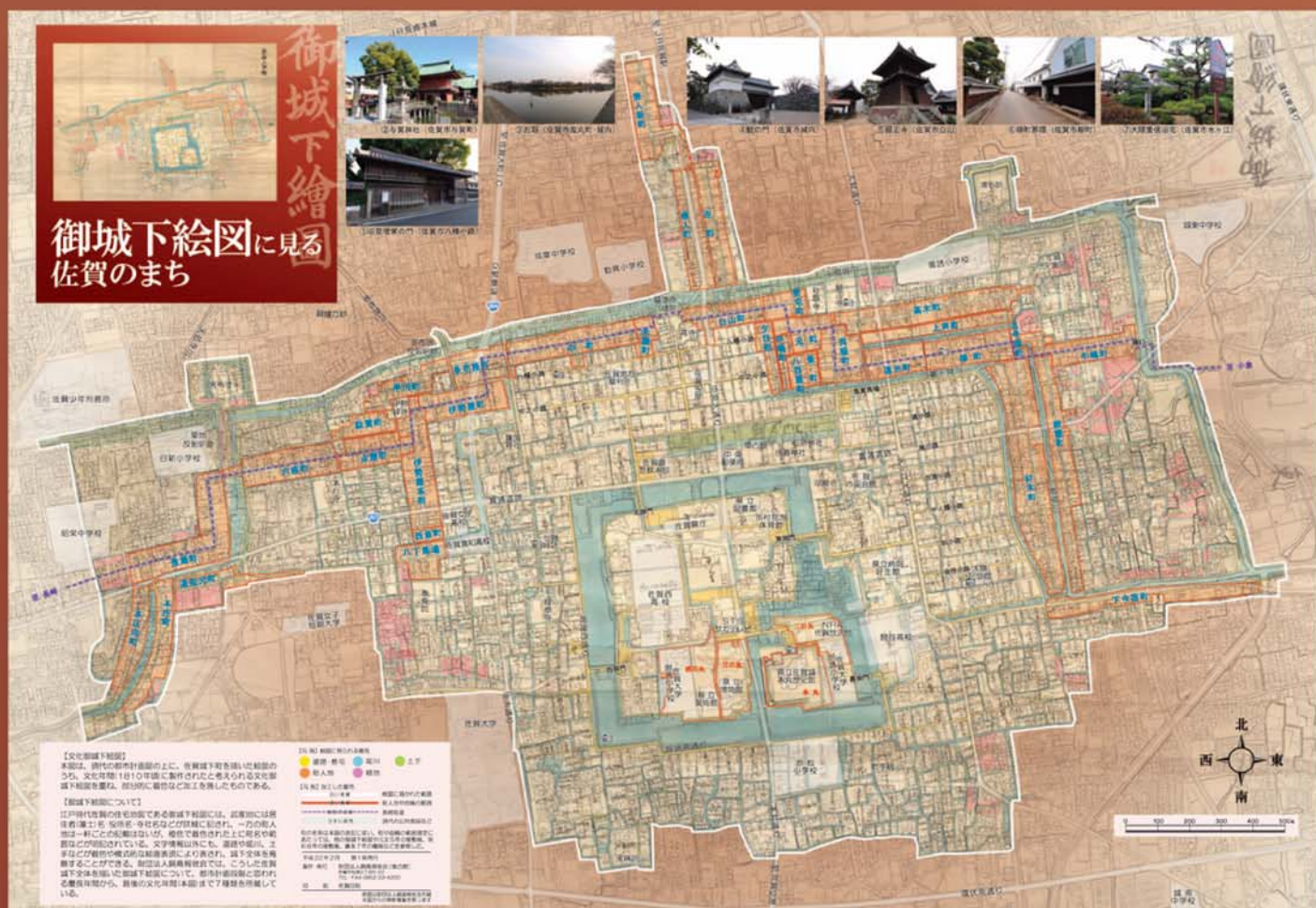


一部
1,100円

御城下絵図に見る佐賀のまち

江戸時代 佐賀の住宅地図「御城下絵図」と現代地図を重ね合わせた、初めての試み。

B2版/¥1,200



町人地と町名

町屋の範囲を赤枠線で図示し、町名を明記。現在でも商店街となっている「白山町」が見える一方で、「夕日町」、「中嶋町」、「八百屋町」など今は消滅した町名も確認できる。江戸時代を通じて町数には変動があるが、本絵図には35の町名が記載されている。

徴古館の位置

現代の公共施設等を明示しており、位置の把握に便利。「佐賀市松原2丁目5-22」に立つ徴古館の場所の一部には、江戸時代は水路が流れていたことが分かる。なお徴古館の背後に広がる緑色の一帯には松樹が植えられていた。現在の地名「松原」の由来である。



長崎街道

(紫色の点線)でルートを明示
小倉から長崎に至る長崎街道は、佐賀城下では武家地を避け、町人地の中を通過していたことが分かる。

武家地と小路名

城内を除く武家地の全てには、「○○小路」などの小路名が付いていた。本マップでは、そのうち「八幡小路」や「中之小路」、片田江七小路など、現在でもなじみのある小路名を

道路・水路

黄色は江戸時代の道路、水色は江戸時代の水路や堀。現代の地図と重ねることで、往時の道路や水路が現在でも活着していることが一目瞭然。